



おぎ
だより

平成27年3月号

杉並区立井荻小学校

平成27年2月27日発行 No.560

子どもは自然に育つ？

校長 梅津 典子

子どもが大きくなって幼稚園や保育園に入ったり、小学校に入ったりすると、子育ては終わりなのでしょうか？もちろん、そんなわけではなく、上級学校に進んだり就職したりしても子どもに関する悩みはつきません。

しかし、衣食住が足りていれば、子どもは自然に育つと思っている大人が増えてきたのではないかと思うことがあります。

例えば、子どもの持ち物に全く関心を持たなかったり、子どもが誰とどこで遊んでいるのか知らなかったり。こんなことを言う人もいます。「忘れ物をしたら、本人が困るのですから…、遅刻をするのは本人が悪いのですから…」また、「勉強は学校に任せているのだから、宿題を見てあげたり、家庭で本読みを聞いてあげることはしません。」

しかし、子どもが忘れ物をするにはするだけの理由があります。生活リズムができていないとか、整理整頓する習慣が身に付いていないとか。また、学校にいれば、勉強するというものでもありません。

「勉強する」とは、子どもにとっても、しんどいことです。このしんどいハードルを乗り越えれば楽しいという経験を持っていたり、自分の成長を喜んでいる人がいたりするから、頑張ろうという気持ちになるのです。

このような根っこの部分をつくってあげるのが、親なのであり、子育てなのではないでしょうか。子どもは、まだまだ未熟な存在です。取り巻く大人のかかわりが意欲あふれる子どもを育てるのだと思います。

先日、こんな文章をインターネットで見つけました。

子は親の鏡

けなされて育つと子どもは人をけなすようになる
とげとげした家庭で育つと子どもは乱暴になる
不安な気持ちで育てると子どもも不安になる

(中略)

叱りつけてばかりいると子どもは

「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう
励ましてあげれば子どもは自信を持つようになる

広い心で接すればキレる子にはならない

誉めてあげれば子どもは明るい子に育つ

愛してあげれば子どもは自分が好きになる

見つめてあげれば子どもは頑張り屋になる

分かち合うことを教えれば

子どもは思いやりを学ぶ

親が正直であれば

子どもは正直であることの大切さを知る

子どもに公平であれば

子どもは正義感のある子に育つ

やさしく思いやりを持って育てれば

子どもはやさしい子に育つ

守ってあげれば子どもは強い子に育つ

和気あいあいとした家庭で育てば

子どもはこの世の中は

いいところだと思うようになる

「人は生まれた時から、人間でなはい。人と人との間で人と関わって育って人間になる」と言う人がいます。子どもは、自然に育つのではなく、人との関わりの中で様々なことを学んでいきます。大人の子どもに対する温かいまなざしや声かけが、子どもに自信を与え優しい子に育っていくのではないのでしょうか。

もうすぐ卒業(6年生)

1組

・井荻小の行事や日常での学びはいろいろあるけど、全部「友達の大切さ」につながる気がします。私ができないことがあったり、困ったりするたびに、いつも一緒に助けてくれました。 浅見 葵

・僕は6年生の時の運動会で、努力すれば成功につながるということを学びました。これから難しいこともたくさんあると思うけど、あきらめずに頑張りたいです。

大塚優輝

・ほくが、学校生活で楽しかったことは、今年度の全校遠足です。1年生のペアの子が言うことを聞いてくれないこともあったけれど、それでも1年生のことがかわいかったです。

岡野歩夢

・井荻小の6年間で学んだことはたくさんあります。運動会の組体操では友達と協力し合うこと、ふだんの学校生活では人との関わりを学びました。6年間で学んだことを将来に生かしたいです。

加藤温哉

・ほくは6年間で大切だと思ったのは、仲間と協力することです。そのことは組体操で学びました。中学生になっても、このことを忘れずに生活していきたいです。

川崎航生

・ほくは小学校生活で、運動会がとても楽しかったです。6年生の運動会は、応援団長をやりました。団長のプレッシャーでとてもつらかったけど、その分、成功した時の達成感が大きかったです。

小岩井周作

・私は6年間で、ふだんの授業を大切にしてきました。だから、中学生になってもそのことを忘れずに授業を大切に、部活と両立させていきたいです。

小谷梨歌

・私は運動会の組体操が一番心の中に残っています。組体操では、協力、努力の大切さを学び、達成感を味わいました。学んだことを、中学校の行事や勉強に生かしていけるようにしたいです。

昆野涼音

・6年間の思い出の中で一番に残っているのは、学芸会といおぎまつりです。なぜかという、これまでで一番がんばり、工夫したからです。これらのことを、他の活動にも生かしていきたいです。

坂上*トヲ幸

・私がこの学校生活で楽しかったことは、友達と話すことと、いおぎまつりなどの行事です。その中で学んだことは、自分から友達と関わることと協力することの大切さです。

坂本芽生

・私はみんなで協力して立てたピラミッドが心に残っています。練習ではなかなか成功しないまま本番にいどみました。ピラミッドはゆれたけれど、みんなの思いが一つになったから成功しました。あきらめなくてよかったです。佐々木ふみ

・ほくが心に残っているのは、6年生の時の運動会です。がんばった組体操では、最後のピラミッドが成功してとてもうれしかったです。この運動会で学んだ、努力をすれば何事もできるということを、中学校で生かしたいです。

佐藤日向

・ほくがこの学校生活で学んだことは、協力することの大切さです。そのことを感じたのは、組体操のときです。組体操は協力しないとできないものだからです。この学びを、他のことにも生かしていきたいです。

鈴木嶺士

・組体操は私の一生の思い出です。組体操では、全力でがんばることの楽しさと達成感を学びました。私は、これを組体操だけで終わらせず、これからもずっと全力でやっていきたいです。

炭谷志月

・川の清掃をして、人から言われた「ありがとう。」その一言で、心が晴れ晴れしくなりました。友達といっしょに、「こんなゴミが！」と笑い合う時も楽しかったです。清掃は、私にたくさんの思い出と学びをくれました。

諏訪野々花

・私が小学校生活で学んだのは、友達の大切さです。つらい時も、うれしい時も、いつも一緒にいてくれた友達は、私にとって大きな存在です。これからも友達を大切に生活していきたいです。

等々力望羽

・私が6年間で一番うれしかったことは、共通の趣味をもった人と友達になれたことです。その友達がいる学校に通うのが楽しくなりました。

長瀬日向子

・ほくが6年間で一番心に残ったのは、6年生の時の移動教室で高座山に登ったことです。学んだことは、あきらめないことの大切さです。これからも、どんなかべも乗り越えていきたいです。

蜂谷陸斗

・私はこの6年間で、あきらめずに努力することの大切さを学びました。中学校に行っても、井荻小学校で学んだことを忘れずに、一つ一つのことをあきらめずに努力して、苦手なことを減らしていきたいです。

濱本柚子

・井荻小で学んだ、友達の大切さ、協力することの大事さ、自分から考えて動くことなど、たくさんを将来に生かして生活していきたいと思います。

布施萌子

・ほくが1年生の時から、井荻小学校は元気な学校でした。けんかをして、「一生遊ばない。」と言い合っても、次の日には一緒に遊びました。これからも、元気な井荻小学校であってほしいです。

古谷 迅

・6年間の思い出は、応援団に入ったことです。赤組と白組、立場はちがうけど、協力して運動会を成功させることができました。いろいろ大変だったけど、応援団に入ってよかったと思いました。

前田泰之介

・私は川が流れていて自然がたくさんある学校で6年間学び、たくさんを教してもらいました。卒業まであと少し。別れてしまう友達もいるけど、小学校で学んだことを生かして、中学校でもがんばってきたいです。

山口日菜子

・小学校生活での一番の思い出は、皆と過ごした日々です。だからこそ、とてもさみしいですが、こんなに楽しかった日々は忘れません。中学校でも、このようなクラスにできたらいいなと思っています。

山本菜葉

・ほくは、この小学校で、あきらめないことや協力することなど、勉強だけでなく心の面でもたくさんを学びました。この学びをむだにしないように、中学校でも生かしていきたいです。

吉田和司

・6年間で楽しかった思い出は、清掃活動です。ゴミを拾う活動だけど、たくさんの発見や友達との関わり、そしていろいろな人とふれ合うことがあってうれしかったです。

和田直騎

・私が6年間で一番心に残っているのは、5、6年生の時のクラスです。みんな仲良く、いい人たちです。授業もとても深まるし、毎日がとても楽しかったです。こんな仲間に恵まれて、とてもよかったと思います。

渡邊美帆

2組

・私は人とのつながりについて学びました。以前はとても人見知りでしたが、出会いを重ねるうちに克服しました。私の夢は、人を助ける仕事につくことなので、人とのつながりを大切にしたいです。 網中彰子

・ぼくが6年間で一番心に残ったことは、運動会の組体操です。組体操では協力することの大切さを学び、とてもいい経験になりました。これからも学んだことを生かしていきたいです。 岡田陸斗

・6年間この学校で生活してきた中で、6年2組は今までにない最高のクラスです。どんな時も友達のことを考え、授業も休み時間も楽しい、そんな人たちに囲まれて生活する毎日は最高でした。井荻小学校にこんなクラスがもっとできたらいいなと思います。 岡野朱里

・私が6年間で一番心に残ったことは、移動教室です。5、6年で二泊三日、協力し合い、最高の思い出を作り上げました。とても楽しかったことを今でも覚えています。そして、協力することの大切さを学びました。 奥井結希

・私は、小学校生活で「人との協力」「あきらめない」ことを学びました。この学びはこれからの生活でとても大切なことなので、しっかり学んだことを生かしていきたいと思っています。 小林彩美

・僕は、6年生で行った組体操で、協力の大切さとその時生まれる達成感について学びました。中学校に行ってもこの学びを生かして、新しい生活を新しい友達と頑張っていきたいです。 小林隆太

・私の6年間の思い出は学芸会です。みんなで演じた劇はとても楽しく、協力の大切さを学びました。学芸会を終えて、学年全体に達成感が生まれたとともに、お互いの仲が深まり、学芸会をやった良かったと思いました。 小峰星花

・僕は4分区の連合運動会のことが一番心に残っています。理由は、他の5校の一番足の速い人と走って一位だったからです。僕は連合運動会のおかげで自信を持つことができました。 鈴木颯人

・僕はこの6年間で協力の大切さを学びました。一人ひとりが自分の持てる力をすべて出し切ったとき、素晴らしいものが出来上がります。協力して成し遂げた時の喜びは、心の中で何十年たっても忘れない思い出になりそうです。諏訪 楓

・組体操で私は協力、努力を学び、みんなで一つのを創るという楽しさを感じました。アドバイスし合いながらみんなで練習して創り上げたとても素敵な体験を忘れずに生きていきたいです。 早田花蓮

・僕が一番心に残っていることは6年生の時の組体操です。理由は二つあります。一つ目は僕が運動をすることが好きだからです。二つ目は今までの学校行事の中で一番学ぶことが多かったからです。 高木結平

・僕の一番心に残っていることは、野球の中瀬杯です。最後の公式戦でヒットを打つことができました。今まで練習してきてよかったと思いました。これからも練習してもっと野球がうまくなるように頑張りたいです。 竹内海翔

・この井荻小での一番の思い出は、川の中、周辺の清掃活動です。このことから、自然の大切さを学び、地域の人たちとかがわれました。活動しながら学べて、井荻小にはとても感謝しています。 竹内龍仁

・僕の卒業するまでの一番の思い出は、移動教室です。みんなで協力することと

自立したことを学べたので、とても楽しかったです。中学校でもこのことを生かしていきたいです。 垂水優也

・僕の井荻小の思い出は、運動会の組体操です。みんなで協力しないと絶対できないピラミッドが完成した時はとてもうれしかったです。終わった後もみんなでとても喜んだこともいい思い出です。 塚本敬祐

・連合運動会の長縄では、何回も何回も悪かったところを直し良かったところはもっと良くして、練習を始めた時よりもうんと良い結果を出すことができました。中学校でもこういうことを自分自身で続けていきたいと思っています。 土野 桜

・私は川の清掃をしてきました。川がきれいになることを夢見て。清掃は一人でできるけれど、何人も集まって活動したら、力は何倍にもなります。在校生の皆さん、協力して自分の夢に向かってください。 豊島心子

・私がこの6年間で一番心に残っていることは、6年生の学芸会です。みんなで助け合ったりしたこと、協力することの大切さを学びました。この経験を生かしていきたいです。 蜂須賀優里

・私はこの6年間で「協力すること」と「最後まで絶対あきらめないこと」を学びました。それは普通の授業でも学びましたが、最もそのこと大切さを感じたのは組体操の練習です。このような学ぶ機会を与えてくれた先生にとっても感謝しています。 浜本萌子

・私はこの井荻小学校生活6年間で、友達の大切さを学びました。運動会などの学校行事などでいつでも助けてくれた友達。これからの生活でも大切にしていきたいです。 平柳里菜

・私は6年間の学校生活で協力する大切さを学びました。協力すると、一つ一つの力は小さくても大きな力となるからです。この学びを生かし、何かをするとき、みんなと協力して取り組みたいと思います。 藤原侑里

・僕の楽しかった思い出は移動教室、運動会、学芸会です。学芸会ではヤクザ②の役と音響の係をやりました。せりふは少ないけど楽しかったし、音響は自分なりの工夫ができたので楽しかったです。またやりたいです。 古谷健太郎

・私の6年間の思い出は運動会です。毎年やっているのに、徒競走などでは成長したと感ずることがありました。中でも5、6年の組体操は、本番で成功した時の達成感が味わえてよかったです。 細井 奏

・私の一番心に残っていることは清掃活動です。みんなと笑いながら清掃して過ごしたあの短い時間は忘れられません。この笑顔ある清掃活動を次の世代に引き継いでもらいたいです。 前原礼奈

・私はこの井荻小学校でたくさんのことを学びました。協力や楽しむこと、全力でやることなど、初めは何とも思っていなかったことが大切だということを教えてもらいました。本当に感謝しています。 村山ちひろ

・僕が一番思い出に残ったのは富士学園移動教室です。理由は、みんなでトランプとかウノとかやって楽しい思い出ができたからです。また、このような思い出ができるといいなと思っています。 本井貴也

・僕は6年間野球をやり、みんなで協力することの大切さや努力しないと何事も成功しないことを学びました。みんなで協力すれば勝負にも勝てるし、努力しなければうまくいかない。これからもこの経験を生かして頑張りたいです。 柳澤 諒

3月行事予定

1	日	
2	月	委員会（最終）
3	火	保護者会（5・6年）
4	水	6年生を送る会 ふれあいタイム
5	木	保護者会（1・2年） 荻中生による読み聞かせ
6	金	保護者会（3・4年）
7	土	
8	日	
9	月	5年生荻中授業体験 お話会①
10	火	安全指導
11	水	避難訓練 ふれあいタイム
12	木	お話会② 感謝の会
13	金	
14	土	善福寺川活動 川の引き継ぎ式
15	日	
16	月	
17	火	B時程 PTA総会 15:30～
18	水	ふれあいタイム
19	木	音楽集会（1年生）図書館閉館
20	金	
21	土	春分の日
22	日	
23	月	給食終了・大掃除 卒業式前日準備（5年生以外 13:45下校）
24	火	修了式 卒業式予行練習（5,6年） （1～4年下校 10:25）
25	水	卒業式（5・6年下校 12:05）
26	木	春季休業日始
27	金	
28	土	
29	日	
30	月	
31	火	

来年度4月初めの予定
 4月6日（月）始業式・入学式
 4月7日（火）大掃除
 4月8日（水）給食開始

3月の生活目標 「感謝の気持ちを伝えよう」

生活指導部 山口 真

いよいよ3学期の最後の月です。3月は1年間のまとめの月です。1年間お世話になった教室、机・椅子、自分の持ち物に感謝の気持ちをもって、きれいにしてから次に引き継いでほしいと思います。もちろんお世話になった方々にもきちんと感謝の気持ちを伝えられるといいですね。

たしかに「こころ」はだれにも見えないけれど「こころづかい」は見えるのだ
 それは人に対する積極的な行為だから同じように胸の中の「思い」は見えないけれど「思いやり」はだれにでも見える
 それも人に対する積極的な行為なのだからあたたかい心が あたたかい行為になりやさしい思いが やさしい行為になるとき
 「こころ」も「思い」も初めて美しく生きる
 それは 人が人として生きることだ
 宮澤章二「行為の意味」より…一部抜粋

今月の目標は、「感謝の気持ちを伝えよう」です。普段気がつかない、気にしていないところにもお世話になっていることがたくさんあると思います。いま一度、ふり返って考え、行動して表せるといいですね。

6年生を送る会 特活部

今年度も3月4日に、全校児童による『6年生を送る会』が体育館で行われます。これまで学校全体のために活動してくれた6年生に感謝の気持ちをこめて、ゲームや合唱・合奏で楽しいひとときを過ごそうと準備を進めています。また、在校生が色々な場面とともに過ごした6年生のことを思い、呼びかけの言葉をプレゼントとして贈ります。当日の装飾も、1・2年生の描く6年生の似顔絵など、学年ごとに分担して準備をします。これらの企画・運営を中心となって進めるのは5年生です。送る会は、児童会の引き継ぎの会でもあるのです。どの学年にとっても、心に残る会になることを願っています。

受賞しました！おめでとうございます！

子どもノンフィクション文学賞・
 学校団体賞受賞
 杉並区立井荻小学校4年生
 ・受賞作品「善福寺川について調べよう」
 のテーマで書いた文章

杉並区子ども読書月間標語募集・入賞
 6年生 小林 隆太さん
 ・受賞作品（標語）
 「出会いたい 未来を変える 1冊に」
 （応募総数 1067 作品中4作品入賞）